

令和 5 年度品川区シルバー人材センター事業報告

公益社団法人
品川区シルバー人材センター
会 長 中 井 武 美

1. 事業実施状況

概 況

品川区シルバー人材センターは、昭和 52 年 4 月に品川区高齢者事業団として設立され、その後平成 23 年度には公益社団法人として新たにスタートを切り、今日まで長きにわたり高齢者の多様なニーズに応える組織のひとつとして、就業の機会を提供することを通じてその活動を援助し高齢者の社会参加と福祉の増進を図ってきた。

令和 5 年度は、5 月に新型コロナウイルス感染症の感染症法上の扱いが 5 類へと変更され、それまでの様々な規制が緩和されたことで、徐々に日常生活がコロナ禍以前の状態に戻ってきた。しかし、シルバー人材センターを巡る状況はコロナ禍による様々な社会の変化への対応を迫られるなど決して楽観できるものではなかった。

このような状況のなか、令和 5 年度も引き続き重点事業となる各事業に積極的に取り組んできたが、業績の回復は思ったようには進まず年度を通じて苦戦を強いられてきたと言えるだろう。

まず令和 5 年度における会員の入退会の状況は、コロナ禍の過去 3 年間と比べ単年度では入会者増、退会者減の傾向が見られたものの、最終的には令和 5 年度末の会員数は 2,112 名と、前年度より 38 名、率では 1.8%の減となった。しかしながら、こうした厳しい状況下において、会員数の増には直接結びつかなかったものの、入会説明会の強化やインターネットを利用した広報などは一定の成果も見られ、今後に繋がる取り組みとなった。広報活動の強化は就業機会の拡大に関しても重要な役割を果たすため、センターの認知度向上を含め、引続き様々な媒体を活用した広報活動の強化を積極的に行っていく。

次に、事業実績については、シルバー派遣も含めた受託件数が 12,876 件と令和 4 年度から 824 件の減。契約金額は 11 億 9 千 7 百万円余で、令和 4 年度より約 310 万円の増となった。契約金額は何とか令和 4 年度並みの実績を確保したが、契約件数は伸び悩んでおり、会員数とともに一層の強化が必要な状況である。

今後、インボイス制度やフリーランス新法への対応など、先行きの見通しづらい状況も続くことから、広く情報収集を行いながら、これまで以上に適確な事業運営が求められている。

最後に、センターの大きな課題である事故防止の取り組みであるが、事故件数こそ令和 4 年度より 7 件の減少となったものの、年度の第 4 四半期に事故が集中するなど、引き続き再発防止を徹底して事故を抑制する取り組みを強力に推進しなくてはならない。会員の安心安全を図る観点からも、改めて事故ゼロを目指す取り組みを確実に進めていく。

以下、事業計画に沿った事業結果について報告する。

I. 事業目標・事業実績について

区 分	当 初 事 業 目 標	事 業 実 績		
		実 数	目標との比較	前 年 度 比 較
会員数	2,300 名	2,112 名 (男性 1,136 名、女性 976 名)	△ 188 名 (8.2%減)	△ 38 名 (1.8%減)
就業実人員 (請 負)	年 間 1,900 名	年 間 1,783 名	△ 117 名 (6.2%減)	△ 34 名 (1.9%減)
就業実人員 (派 遣)		29 名		7 名 (31.8%増)
就業延日人員 (請 負)		251,110 日人		△ 10,892 日人 (4.2%減)
就業延日人員 (派 遣)		3,577 日人		1,135 日人 (46.5%増)
契約金額 (請 負)	年 間 118,400 万円	1,177,796,031 円	△ 6,203,969 円 (0.5%減)	△ 3,159,865 円 (0.3%減)
		内 公 共 537,858,775 円		6,326,005 円 (1.2%増)
		民 間 639,937,256 円		△ 9,485,870 円 (1.5%減)
契約金額 (派 遣)	年 間 2,000 万円	19,830,905 円	△ 169,095 円 (0.8%減)	6,261,334 円 (46.1% 増)
受託件数 (請 負)	年 間 14,000 件	12,647 件	△ 1,353 件 (9.7%減)	△ 879 件 (6.5%減)
受託件数 (派 遣)		229 件		55 件 (31.6% 増)

II. 公益目的事業について

事業 1 就業機会の確保・拡大

(1) 区の施策との連携・協力

令和 5 年度は、新型コロナウイルスは終息に向かい、少しずつ事業も回復に向かい始めている。令和 4 年度まで、区内小中学校の施設開放管理、シルバーセンターや地域センターの受付管理、目的外施設管理業務等、削減された就業時間が徐々に元の状況に戻り始めた。

また、区議会議員選挙公報配布、資源・ごみの分け方・出し方の配布業務など臨時の配布については受注増に繋がった。

また、近年、区内でも問題になっている悪質な特殊詐欺に対し、令和 4 年度に初めて受注した特殊詐欺防止啓発活動業務を、令和 5 年度も区の地域活動課生活安全担当と連携して実施し、地域の特殊詐欺防止にも貢献した。こうした

ことから、令和 5 年度の公共の事業実績は、令和 4 年度を上回る数字となった。

今後もさらに安定的な受注獲得のため区と連携協力しながら事業運営に努めていく。

(2) 就業機会の確保・拡大事業

民間の仕事としての請負・委託事業については、毎年継続中の事業が減少はするものの、年間を通じて実施した受託件数の総数は 11,943 件であった。そのうち新規の契約は 499 件で、多くは清掃・植木だが、他に展示会の受付業務や動画広告の素材モデルの依頼など、新しい分野での就業もあった。

① 技能系就業の技術の向上・リーダー育成

技能系就業においては事業継続のため、年間を通して就業会員の募集を行ったが、思うような増強には至らなかった。しかし数名の新規就業者を得ることができたので、OJT 等で技術向上を行いながら定着を図った。

② ポスティング体制

ポスティングについては、配布期間の短縮及び就業会員の負担軽減のため、配布枚数の多い地域や高齢会員などに対して配布地域の分割や配布枚数の軽減を推奨し、改善を図った。配布会員の募集に注力して、ポスティング体制の強化を図ったが、区内の会員登録数の少ない地域においては、後継者不足が続いており、配布業務の安定的な継続就業に大きな問題を抱えている。

③ 就業確保・拡大

就業確保・拡大のため就業開拓専門員による、区内の中小企業事業者・共働き世帯・高齢者の一人暮らし世帯等を対象とする就業開拓を行った。仕事の担い手となる新たな会員確保のため、入会説明会、出張入会説明会、入会強化事業を実施した。また、未就業会員を対象に対面相談・電話相談・会員状況調査票による書面相談を実施し、仕事と会員を丁寧に繋ぐとともに退会抑制に努めた。

(3) 地域・家庭からのニーズの充実

① 地域コンビニサービス事業

近年、高齢者世帯や単身世帯が多くなっている状況を反映して、病院の付添や買い物などの依頼が多くなっている。それらのニーズに応えるため受注体制の強化を図った。また、地域コンビニのチラシを清掃事務所や支え愛・ほっとステーションに設置してもらい事業の PR に努めた。

地域コンビニサービス事業

事業項目	実績	事業項目	実績
包丁研ぎ	245 件	室内外の片付け・整理・清掃	64 件
粗大ごみの搬出・解体	84 件	病院・買物の付添代行	34 件
家具移動・その他	91 件		

地域コンビニサービス計 518 件

家事援助

事業項目	実績	事業項目	実績
家庭内の掃除等	75 件	食事作り	5 件

家事援助計 80 件

児童送迎

事業項目	実績
送迎	5 件

児童送迎計 5 件

② 学習教室事業

区の補助を受けて、低廉な授業料で子ども向けの学習教室事業「おさらい塾」を実施した。令和 5 年度は小学 4・5 年生を対象として、各学年週 1 回の授業を行い、子どもの基礎学力の向上に努めた。

小学 4・5 年生 各 1 クラス

英会話初級 4～5 年生 1 クラス 生徒総数 13 名

③ いきいきプラザ事業の充実

いきいきプラザでは、福祉的就業の場として封入作業や検品作業など内職作業を積極的に受注した。結果として単発の仕事よりも毎月定期的に実施する作業の比率が増えた。また、令和 5 年度も引き続き品川区内事業所の活性化に関連した配布業務の封入作業部分を東大井支所と協力し行った。

実績 24 件

(4) 適正就業への対応

適正就業となるよう担当職員による現場巡回や就業会員への聞き取り調査を行い、就業手順書の修正を随時行うことで適正就業の確保に努めた。

(5) シルバー派遣事業の展開

シルバー派遣事業導入後、事業の中心である保育補助業務のさらなる拡大のため、派遣コーディネーターと連携し、保育園とその運営会社へ PRDM を発送し開拓に努めた。区が発行する産業ニュースに仕事募集 PR を掲載し、それに合わせたタイミングで区内 6 駅に会員募集 PR ポスターを掲出し仕事と会員の新規開拓に努めた。新聞折込チラシには仕事の詳細を掲載し就業意欲を喚起できるよう工夫した。その結果、保育補助業務、デイサービスでの補助業務、経理事務、配膳下膳食器洗い業務を新規開拓した。

(6) 地区委員会・ボランティア活動の充実

地区委員会は、会員相互のコミュニケーションの円滑化や「共働・共助」の理念に基づき会員の要望や課題の解決に向けて活動を展開した。

① 定期的な地区委員会の開催

新型コロナウイルスの影響も終息に向かい、数年ぶりに全体会等の開催等に向けて議論を重ねた。また直近の話題、課題について意見交換を行った。

さらに、会報「シルバーしながわ」の配付を実施した。

② 地区全体会の開催

地区全体会を4年ぶりに開催し、夏期全体会、新年全体会ともに盛況だった。

地区全体会の開催 各地区 年2回

地区	夏期全体会	講習会などの内容	新年全体会	講習会などの内容
品川北	7/30 開催 31 名	○特殊詐欺の実態 DVD ○懇親会	1/21 開催 51 名	○「和太鼓打ち初め」 ○カラオケ・ビンゴ
品川南	8/6 開催 34 名	○サクソ生演奏 ○カラオケ・ビンゴ	1/14 開催 20 名	○マジック・カラオケ ○ビンゴ
大崎	7/30 開催 35 名	○ハーモニカ演奏 ○カラオケ・ビンゴ	1/28 開催 36 名	○マジック・カラオケ ○ビンゴ
大井東	8/5 開催 34 名	○マンドリン演奏 ○懇親会	1/20 開催 40 名	○ハーモニカ演奏 ○ビンゴ
八潮	7/23 開催 33 名	○「特殊詐欺予防」演劇 ○懇親会	1/28 開催 27 名	○唱歌・ウクレレ演奏 ○ビンゴ
大井	8/27 開催 37 名	○安全と事故防止に関する講演 ○マジック・懇親会	1/28 開催 38 名	○お三味線・手話ダンス ○ビンゴ・カラオケ
大井西	7/30 開催 16 名	○超高齢社会を踏まえて ○懇親会	1/20 開催 15 名	○落語 ○カラオケ
荏原	7/29 開催 38 名	○フレイル予防について ○コーラス・懇親会	1/27 開催 46 名	○コーラス・ハーモニカ ○カラオケ・ビンゴ
中延	7/17 開催 40 名	○ヘルメット着用講和 ○ビンゴ・懇親会	1/8 開催 49 名	○なぞなぞ・手品 ○カラオケ・ビンゴ
戸越	8/23 開催 25 名	○KY 予測・スマホ講和 ○カラオケ・ビンゴ	1/21 開催 35 名	○ハンドベル ○カラオケ・ビンゴ

③ 地区委員長連絡会の開催

毎月の新入会員研修会に合わせ地区委員長連絡会を開催することで、各地区、事務局との情報連絡・情報交換を図るとともに、新入会員に対して地区委員長紹介の場を提供した。

④ ボランティア活動

感染症の状況を注視しながら検討したが、令和5年度は福祉施設の訪問事業は中止した。

事業2 普及啓発事業

(1) 会員の入会強化

① 会員募集の強化

会員の方へ友人・知人紹介カードを配付し、多数入会者を紹介していただいた地区には入会勧奨への功労を評価し表彰することとした。

10地区 50名入会

会員募集チラシは、新鮮かつ好印象を与えるよう工夫して作成し、新聞折込とポスティングで配布を行った。また、紙媒体は継続しながら、Web 広告も展開し、これまでセンターの PR が届いていなかった層まで効果的に PR できるよう努めた。

② 関係機関での PR 活動

区の関連施設にて刷新した事業案内パンフレットや会員募集等のチラシの設置をお願いし、利用者の方に広くセンターを知ってもらうための PR を行った。また、令和5年度からハローワーク主催の『働きながら年金受給セミナー』に参加し PR を行った。

③ 現会員数の維持策

未就業会員に特化した対面相談・電話相談・会員状況調査票による書面相談を実施し、仕事と会員を繋ぐとともに、未就業による退会を抑制することに努めた。

④ 女性会員募集の強化

高齢者世帯や独居高齢者・子育て世帯等、家庭からの家事のお手伝いや児童送迎・見守り、保育補助などの受注増に安定的に対応するため、年間を通して女性が働きやすい職種のイラストを多用した駅ポスター・看板の掲出、新聞折込及びチラシを作成配布し会員募集強化に努めた。

(2) 積極的な広報活動の展開

① 事業 PR チラシ配布、新聞折込チラシ、区内主要駅への看板・ポスター掲出、Web 広告

新入会員募集及び事業 PR チラシ配布	26,700 枚
会員募集チラシ配布	250,000 枚
会員募集チラシ新聞折込 18 回	923,900 部
事業 PR チラシ新聞折込	14,050 枚
区内主要駅頭への看板・ポスター掲出	11 駅
YouTube 動画広告	9 月～11 月

② 区広報等による周知活動

区の広報しながわ	7 回実施
区の統合ポスター	9 回実施
しながわ産業ニュースへの広告掲載	5 回実施
しながわガイドへの広告掲載	1 回実施

③ ホームページのリニューアル

令和 6 年 3 月 25 日に新ホームページを公開した。就業開拓と会員増強に繋がるようセンターへの発注方法や会員登録方法などわかりやすく掲載し、会員に向けては、お知らせや募集中の仕事の情報、配分金明細の確認など、センターからの情報を迅速に届けられるようリニューアルした。

(3) 定期的な機関誌等の発行

① シルバーしながわ

広報担当理事と職員で構成される広報委員会が各発行時期に合わせて年 12 回編集会議を開催した。表紙には品川区内の季節の風景などを掲載し、定時総会の報告や安全就業、会員の趣味・健康体操・簡単料理・職場紹介・地区委員会活動・4 年ぶりの共助会旅行の報告などセンターを取り巻く課題や身近な話題を取り上げ親しみのある紙面づくりを心掛けた。

年間発行回数 4 回（4 月・7 月・10 月・1 月）

② センター通信

会員向けに毎月直近の情報や注意喚起を会員に知らせるとともに、安全就業については欠かさず掲載し重要性を訴えた。そのほか、スマートフォン教室、ハウスクリーニング等の講習会の案内を行い、会員の日頃の悩み解決や技術力の向上を図った。また、令和 5 年度から再開した地区活動の案内を行い、会員同士の交流及び親睦を推奨した。配付方法としては、就業中の会員には配分金明細書に同封するものとし、未就業会員に向けては各事務所に配置することで対応した。

毎月発行 年間 12 回

事業 3 研修・講習事業

(1) 新入会員研修

センターの行っている事業の基本的理解と就業の際の注意点、接遇の大切さなどの研修を実施した。

年間実施回数…12 回 受講会員数…162 名

毎月の受講状況

(名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
受講者	21	16	12	18	8	14	13	11	7	8	17	17

研修プログラム 「接遇」 講師 (株)パトス

地区委員長との顔合わせ

つま先立ち体操

センターの課題及び挨拶

会長

センター事業の説明

事務局長、事務局次長

就業の相談、斡旋

各担当者

(2) 職群ごとの研修会の開催

会員の技能向上と資質向上を目指して職群ごとに基礎研修を実施し、接遇や安全就業などの研修を随時行った。植木班については造園など技能知識が豊富で長い現場経験を持つ専門家を外部から招いて講師を務めていただいた。

品川区議会選挙公報配布説明会	4/11	240名参加
特殊詐欺防止啓発活動業務	10/11・12	48名参加
児童センター清掃業務	11/27	23名参加
出会いの湯受付業務	2/26・27	54名参加
植木作業班	3/27	16名参加

(3) 外部機関を活用しての研修

《東京しごと財団の就業支援講習会》

会員の技術力向上を図るため、東京しごと財団が実施する「就業支援講習会」に年間を通して参加勧奨を行った。

《第4ブロック共同研修》

ハラスメント研修	2名参加
交通安全講習会	10名参加
普通救命講習	3名参加

事業4 調査研究事業

第4ブロック内のセンターを中心に派遣事業やセンターの事業状況等の情報を共有し意見交換等を行った。

また、第5次中期計画の策定については、令和5年10月より開始されたインボイス制度や令和6年10月から始まるフリーランス法等、センターの事業に大きく関わるため事業計画は見通しが立たず、今後の状況を見ながら着手していく。

事業5 相談事業の実施

(1) 出張入会説明会事業及び入会説明会の開催

会員数の減少している地区や入会率の低い地区等に出張しセンターのPRや入会の相談・説明を行う出張入会説明会を開催した。また、常時入会手続きは行っているところだが、さらに入会の機会が増えるよう本部にて入会説明会を開催した。

出張入会説明会

開催日	開催場所	参加人数	入会者
9/13(水)	中小企業センター	7名	3名
1/24(水)	中小企業センター	12名	6名
3/25(月)	大崎第一地域センター	10名	3名

入会説明会

開催日	開催場所	参加人数	入会者
4/27 (木)	本部集会室	5 名	2 名
5/25 (木)	本部集会室	6 名	5 名
6/29 (木)	本部集会室	9 名	5 名
7/28 (金)	本部集会室	6 名	5 名
8/24 (木)	本部集会室	8 名	5 名
9/28 (木)	本部集会室	4 名	2 名
10/26 (木)	本部集会室	6 名	2 名
11/30 (木)	本部集会室	8 名	4 名
12/22 (金)	本部集会室	5 名	3 名
1/25 (木)	本部集会室	12 名	6 名
2/29 (木)	本部集会室	10 名	2 名
3/22 (金)	本部集会室	8 名	1 名

(2) 理事による就業相談

就業・未就業を問わず会員から広く就業上の相談や仕事上での悩みを理事が聞き取り、今後の仕事の改善や会員の生きがいづくりにつながるようアドバイスを行った。総務部会理事により主に未就業会員を対象に「お客様発注内容一覧表」などを活用し、本部及び荏原支部で就業相談を実施した。

毎月第 2 木曜日 午後 1 時から午後 4 時まで

相談会員 40 名（男性 24 名、女性 16 名）。その他、資料の持ち帰りに多くの会員が来所した。

(3) 不適格就業会員への措置

不適格就業会員の措置要綱を制定しているが、適用となる事例はなかった。

事業 6 安全就業対策の推進

センターにおける安全就業対策は法人組織の維持のためにも重大な課題であり、安全管理委員会を中心に多様な取り組みを行ってきた。

令和 5 年度は 11 件の傷害事故が発生している。事故概要については資料 1 のとおりだが、転倒事故が 5 件、転落が 2 件、激突が 2 件、その他 2 件の合計 11 件となっている。会員一人ひとりが安全意識をさらに高め「事故ゼロ」を目指し、安全就業の取り組みを継続していくことが重要である。

(1) 安全就業強化の取り組み

- ① 職群班ごとの研修会に合わせ、安全集会を兼ねたものと位置付け、安全管

理委員も参加して、安全就業についての講話、つま先立ち体操、指差し唱和の訓練、KY（危険予知）運動なども実施し、最後にそれぞれ安全宣言等を採択して、安全就業の徹底を図った。職群班 5 班 参加者 381 名

- ② 地区全体会（年 2 回 ×10 地区）においても、安全管理委員が出席し、実際の事故事例の説明、危険予知について周知を図った。
- ③ KY（危険予知）運動については、「シルバーしながわ」や「センター通信」を通じて、会員への周知を図るとともに実践への働きかけを行い、それぞれの就業現場にふさわしい方法で取り組むように勧奨した。
- ④ 自転車利用のアンケート調査を行い、結果を「センター通信」に載せ、自転車を利用している会員について、自転車保険加入義務化及び自転車乗車時のヘルメット着用の努力義務化の周知を図った。

(2) 安全就業基準の徹底

- ① 「安全就業基準」の見直しについては令和 5 年度については特になかったが、引き続き状況に合わせ更新していく。
- ② 植木班、除草班の使用しているヘルメット等の装備品に安全就業のシールを貼り、安全意識の向上を図った。
- ③ 高所作業（1.5m以上）において、脚立や三脚等の道具使用の際には、事前に会員同士でチェックし、順守を徹底させた。また、安全パトロール時も確認を行った。
- ④ 定時総会、理事会、地区全体会、職群会議等において「つま先立ち体操」を行い、より多くの会員に定着化するように実施し普及に努めた。また、併せて「転倒しにくい体づくり～今すぐ始める高齢者筋トレ～」も「センター通信」などに同封し普及拡大を図った。

(3) 安全管理委員の活動強化

① 安全管理委員会の開催

安全管理委員会を年 4 回開催し、「安全対策基本計画」及び「安全対策実施計画」を作成・推進し事故ゼロを目指した。

定期開催 年 4 回（4 月・7 月・10 月・3 月）

② 安全パトロールの実施

5 月から 3 月までの各月において植木現場を中心に年間 14 回実施し、事故防止を呼び掛けた。

8 月には東京しごと財団から安全パトロール員が来所し、指導員・安全管理委員長他 1 名で植木現場 1 件と荏原支部及び大井作業所の作業室を巡回指導した。

③ 安全就業強化月間の取り組み

7月・11月・2月と3回実施した。各安全就業強化月間の共通の取り組みとして事故防止の注意喚起のチラシ配布、「シルバーしながわ」での安全就業に関する特集記事、「センター通信」等での就業途上の転倒事故・自転車事故防止の呼び掛けとつま先立ち体操の奨励等を行った。また、就業報告書を提出の際に事故への注意喚起をする一人一声掛け運動を実施した。その他各事務所で安全就業の垂れ幕を掲出し注意喚起を図った。また、安全強化月間においては安全パトロールを月に2回実施した。

以下、月ごとに行った取り組み

《7月》

熱中症に対する注意喚起チラシを配分金明細書に同封

各事務所で「転倒防止」・「熱中症対策」の注意喚起チラシと熱中症対策「塩飴」を配布

各事務所を避暑シェルターとして麦茶を用意

《11月》

各事務所で風邪予防「のど飴」を配布

就業経路途上の転倒事故・自転車事故防止チラシを配付

安全標語の募集

安全グッズ「ランチャーライト」を11月より各事務所にて配付
(令和6年3月末まで配付)

《2月》

各事務所で転倒防止や路面凍結の注意喚起チラシと風邪予防「のど飴」を配布

④ 安全チラシの活用

配分金明細書に適宜、熱中症予防・転倒防止・自転車事故防止・雪に関する注意等安全に関するチラシを同封し注意喚起を行うとともに窓口でも配付時に呼び掛けを行った。

⑤ 事故再発防止講習会

傷害事故に遭われた方及び賠償事故を起こした方を対象に参加を義務づけた事故再発防止講習会を随時実施した。講習会は傷害事故に遭われた会員が就業に復帰する前等に事務局長・担当者・安全推進員などを構成員として開催し、計4名の会員が受講した。

⑥ 過去の事故事例集の活用

事故防止対策の強化を図るため、「傷害事故事例集及び事故防止対策集」を新入会員研修会において配付し事故防止の啓発活動に活用した。

(4) 傷害・賠償保険の加入、自転車総合保険の加入促進

- ① あいおいニッセイ同和損保保険㈱が取り扱う「シルバー人材総合補償プラン」に全会員加入
- ② 自転車保険の加入の奨励
東京しごと財団や東京都で推奨しているサイクル安心保険や、品川区の区民交通傷害保険の加入促進を周知した。

(5) 植木班・除草班の安全就業への独自の取り組み

植木現場に入る際は必ずヘルメットを着用し、安全帯も必ず用意し必要に応じ着用することとした。安全パトロール時にはその場限りのことだけでなく、作業が終了するまで気を抜かずに事故防止に努めるよう安全啓発を行った。

また、3月に悉皆研修として、造園業者に講師を依頼し安全講習会を実施した。技術的な指導は造園業者に実施してもらい、日頃からのルールの徹底については、担当者から指導し、安全に対する意識を高めた。

(6) 事業継続計画（BCP）の策定

大規模な災害等が発生した時に備えて優先事業の絞り込みなどの整備を進めている状況。また、策定した事業継続計画の見直しも今後実施していく。

(7) 新型コロナウイルス対応

新型コロナウイルス感染症については、5 類感染症へ移行されたが引き続き各拠点において手指消毒用アルコール液の設置を行った。

事業 7 地域交流活動の充実

(1) イベントを活用した PR

イベント	実施日	参加会員・実績
みどりと花のフェスティバル	4/8・9 10/14	会員延べ 13 名 包丁研ぎ延べ 118 本
武蔵小山一番通り商栄会 一番祭り物産展	10/28・29	会員延べ 8 名 包丁研ぎ延べ 176 本

Ⅲ. 収益事業

国有地・都有地をセンターが道路占用許可や行政財産の使用許可を得て、駐車場として経営した。また、定期的な清掃、不法駐輪・駐車 of 撤去や道路の整理・整頓などを実施して周辺環境の整備に努めた。また、八潮橋高架下駐車場については、令和 5 年度より駐車場利用料金改定を行った。

実績額 994 万円

Ⅳ. 法人運営（法人会計）

(1) 運営の簡素化

公益法人の機関運営については、簡素で効率的な法人運営の徹底に取り組んだ。

令和 5 年度定時総会

開催日時 令和 5 年 6 月 16 日（金） 午後 1 時 30 分～

開催場所 品川区荏原 4-25-8 スクエア荏原（イベントホール）

会 員 数 2,199 名

出席会員数 1,584 名（内委任状 1,499 名）

定 足 数 1,100 名（会員数の 2 分の 1）

議 案

第 1 号議案 公益社団法人品川区シルバー人材センター令和 4 年度決算報告について

第 2 号議案 理事・監事選任の件（全員任期満了による選任）

報告事項 公益社団法人品川区シルバー人材センター
令和 4 年度事業報告

公益社団法人品川区シルバー人材センター

令和 5 年度事業計画及び収支予算書

(2) ガバナンス（内部統治）の強化

理事会の活性化及び監査の充実

理事会等を定期的開催し事業の全体状況や会員の現状など運営全般を適宜把握し、また、新たに総務委員会の会議を開催して会員数の増加対策等を検討し、理事会へ課題や問題点について活発な論議を重ねて管理と経営の充実に努めた。

また、監査についても適切な経理処理と経営改善につながるよう定期的に実施した。

理事会 年 12 回開催

三役会 年 11 回開催

監 査 年 2 回開催

2.会 員 の 状 況

(1) 会員の入退会者数

(名)

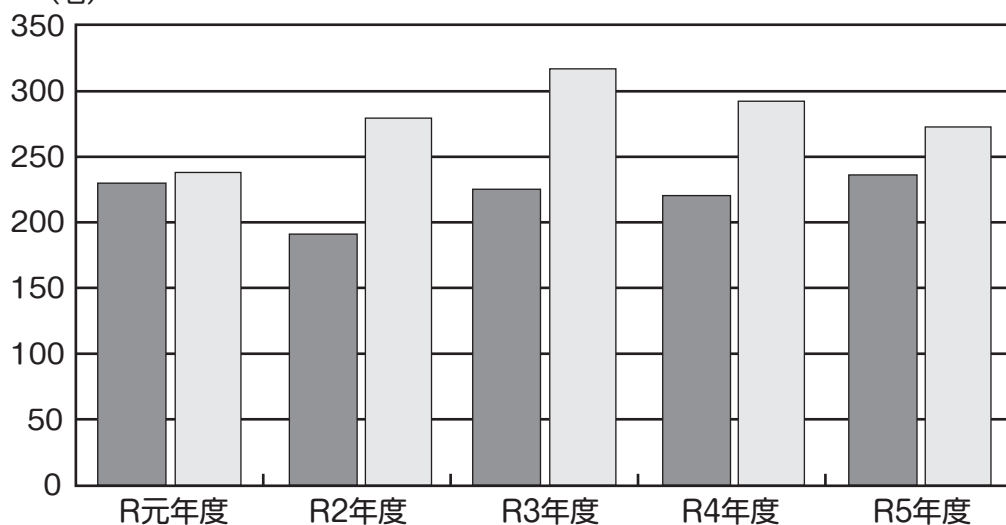
年 月	入 会		退 会		月末会員数		
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	計
R5.4	34	31	10	6	1,178	1,021	2,199
5	8	13	6	10	1,180	1,024	2,204
6	8	13	11	5	1,177	1,032	2,209
7	8	12	32	43	1,153	1,001	2,154
8	9	10	7	6	1,155	1,005	2,160
9	11	10	35	25	1,131	990	2,121
10	13	4	5	1	1,139	993	2,132
11	12	5	4	4	1,147	994	2,141
12	5	4	6	6	1,146	992	2,138
R6.1	5	6	10	11	1,141	987	2,128
2	5	4	6	6	1,140	985	2,125
3	2	2	6	11	1,136	976	2,112
合 計	120	114	138	134			

退会理由

病 気	81 名	家庭の事情(介護等)	12 名
就 職	16 名	会 費 未 納	48 名
死 亡	28 名	加 齢	58 名
転 居	22 名	他団体等への加入	1 名
希望する仕事なし	4 名	センター運営に対する不満	0 名
就業機会なし	0 名	未回答(不明)	0 名
		そ の 他	2 名
		合 計	272 名

(2) 会員入退会者数の推移（過去5年間）

(名)



区 分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
入会者数	230	188	224	220	234
退会者数	240	277	313	296	272

(3) 会員の年齢別内訳

令和6年3月31日現在(名)

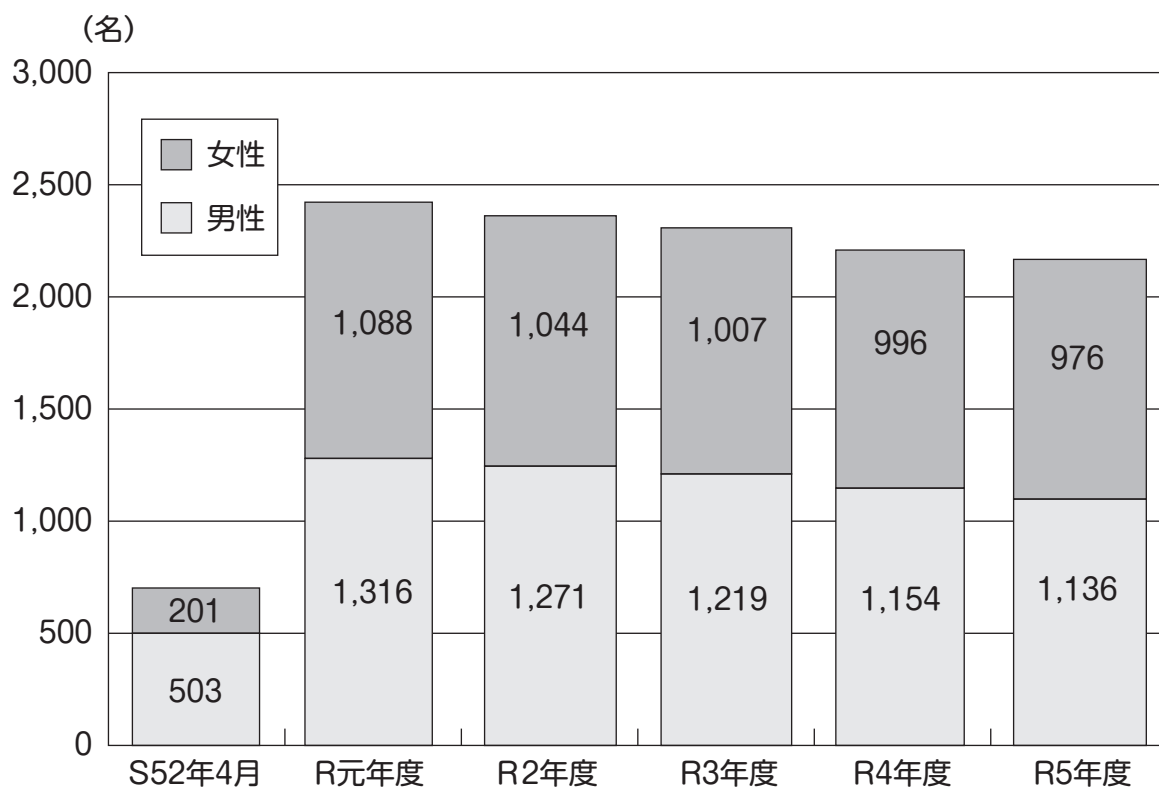
		60歳未満	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80歳以上	合 計
会 員	男性	3	25	86	255	364	403	1,136
	女性	1	29	101	244	296	305	976
	計	4	54	187	499	660	708	2,112

・会員の男女比 男性 53.8% 女性 46.2%
 ・平均年齢 男性 77.6歳 女性 76.7歳
 ・最高年齢 男性 97歳 女性 94歳

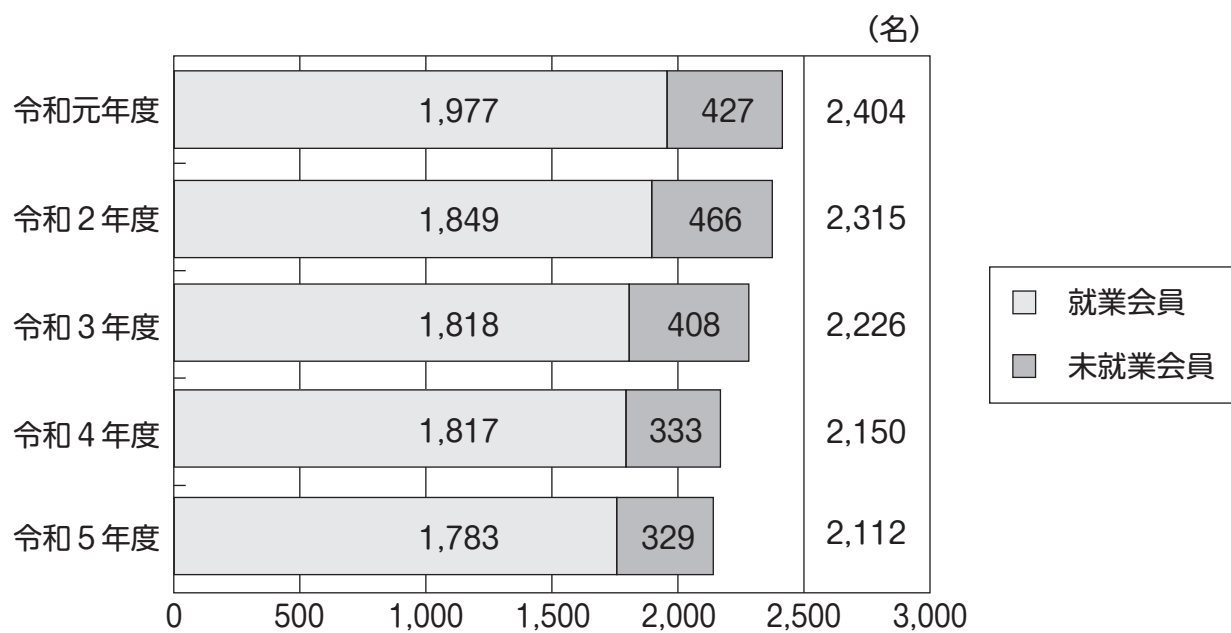
(4) 会員数の推移

(名)

	S52年4月	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
男性	503	1,316	1,271	1,219	1,154	1,136
女性	201	1,088	1,044	1,007	996	976
計	704	2,404	2,315	2,226	2,150	2,112



(5) 各年度別就業実人員の推移



(6) 各年度月別就業実人員

(名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間 実人員
令和元年度	1,690	1,702	1,694	1,701	1,673	1,704	1,642	1,668	1,655	1,635	1,655	1,582	1,977
令和2年度	1,500	1,305	1,563	1,572	1,559	1,544	1,562	1,558	1,534	1,466	1,511	1,530	1,849
令和3年度	1,561	1,443	1,532	1,577	1,503	1,575	1,576	1,570	1,538	1,533	1,545	1,549	1,818
令和4年度	1,570	1,549	1,562	1,544	1,474	1,567	1,559	1,505	1,550	1,515	1,523	1,554	1,817
令和5年度	1,546	1,543	1,548	1,505	1,452	1,562	1,521	1,542	1,488	1,481	1,490	1,489	1,783

3. 事業実績

(1) 令和5年度月別事業実績表【請負】

月別	月別 会員数	事業別	受託事業 件数	就業人員		契 約 金 額			
				延実人員	延日人員	配 分 金	材 料 費	事 務 費	計
4月	2,199	公 共	54	1,498	9,397	41,944,908	868,571	6,718,990	49,532,469
		民 間	1,005	1,598	11,683	48,239,276	1,177,787	7,208,015	56,625,078
		計	1,059	3,096	21,080	90,184,184	2,046,358	13,927,005	106,157,547
5月	2,204	公 共	59	1,573	10,631	41,045,749	700,971	6,630,259	48,376,979
		民 間	1,078	1,937	13,088	47,815,752	1,521,643	7,576,683	56,914,078
		計	1,137	3,510	23,719	88,861,501	2,222,614	14,206,942	105,291,057
6月	2,209	公 共	55	1,272	9,379	37,534,583	746,357	5,677,061	43,958,001
		民 間	1,058	1,604	11,271	47,610,968	1,425,895	7,523,271	56,560,134
		計	1,113	2,876	20,650	85,145,551	2,172,252	13,200,332	100,518,135
7月	2,154	公 共	54	969	7,734	35,448,407	640,058	5,544,344	41,632,809
		民 間	1,003	1,616	11,883	46,632,286	1,205,531	7,159,289	54,997,106
		計	1,057	2,585	19,617	82,080,693	1,845,589	12,703,633	96,629,915
8月	2,160	公 共	56	1,195	7,756	33,982,898	670,878	4,972,866	39,626,642
		民 間	934	1,584	12,001	44,947,230	1,522,061	6,940,030	53,409,321
		計	990	2,779	19,757	78,930,128	2,192,939	11,912,896	93,035,963
9月	2,121	公 共	57	1,376	9,773	39,309,356	2,007,537	6,683,792	48,000,685
		民 間	982	1,628	11,584	44,607,118	2,010,076	7,019,388	53,636,582
		計	1,039	3,004	21,357	83,916,474	4,017,613	13,703,180	101,637,267
10月	2,132	公 共	59	1,254	9,546	37,959,564	649,879	5,653,693	44,263,136
		民 間	1,076	1,721	11,822	46,258,791	1,465,298	7,452,109	55,176,198
		計	1,135	2,975	21,368	84,218,355	2,115,177	13,105,802	99,439,334
11月	2,141	公 共	63	1,406	9,868	39,005,749	1,051,852	6,375,833	46,433,434
		民 間	1,067	1,683	11,198	46,347,497	1,607,826	7,430,627	55,385,950
		計	1,130	3,089	21,066	85,353,246	2,659,678	13,806,460	101,819,384
12月	2,138	公 共	59	1,032	7,821	33,139,596	667,503	5,047,277	38,854,376
		民 間	1,016	1,609	11,533	43,513,640	1,315,163	7,098,216	51,927,019
		計	1,075	2,641	19,354	76,653,236	1,982,666	12,145,493	90,781,395
1月	2,128	公 共	60	1,161	8,123	33,433,853	981,404	5,732,369	40,147,626
		民 間	934	1,384	10,009	40,491,816	1,016,294	6,659,643	48,167,753
		計	994	2,545	18,132	73,925,669	1,997,698	12,392,012	88,315,379
2月	2,125	公 共	61	1,240	8,881	37,248,180	860,326	6,934,185	45,042,691
		民 間	883	1,513	10,761	38,833,498	1,112,374	6,392,714	46,338,586
		計	944	2,753	19,642	76,081,678	1,972,700	13,326,899	91,381,277
3月	2,112	公 共	67	1,508	14,403	42,173,574	358	9,815,995	51,989,927
		民 間	974	2,962	25,368	40,696,393	961,748	9,141,310	50,799,451
		計	1,041	4,470	39,771	82,869,967	962,106	18,957,305	102,789,378
累 計		公 共	704	15,484	113,312	452,226,417	9,845,694	75,786,664	537,858,775
		民 間	12,010	20,839	152,201	535,994,265	16,341,696	87,601,295	639,937,256
		計	12,714	36,323	265,513	988,220,682	26,187,390	163,387,959	1,177,796,031

(2) 会員の職群別就業実績【請負】

	公 共 事 業		民 間 事 業		合 計		構 成 比
	延日人員	配 分 金	延日人員	配 分 金	延日人員	配 分 金	
	日人	円	日人	円	日人	円	%
1.技 術 群	34	244,800	2,213	6,020,719	2,247	6,265,519	0.6
2.技 能 群	128	1,410,762	4,254	42,729,786	4,382	44,140,548	4.5
3.事 務 群	3,728	14,284,319	6,763	17,163,737	10,491	31,448,056	3.2
4.管 理 群	31,961	223,793,863	15,266	81,956,306	47,227	305,750,169	30.9
5.折衝外交群	202	1,140,000	2,293	4,097,776	2,495	5,237,776	0.5
6.軽 作 業 群	29,042	110,838,916	93,889	364,345,881	122,931	475,184,797	48.1
7.サービス群	48,217	100,513,757	13,120	19,680,060	61,337	120,193,817	12.2
8.そ の 他	0	0	0	0	0	0	0.0
合 計	113,312	452,226,417	137,798	535,994,265	251,110	988,220,682	100.0
構成比 (%)	45.1	45.8	54.9	54.2	100.0	100.0	

図-1 職群別配分金比率

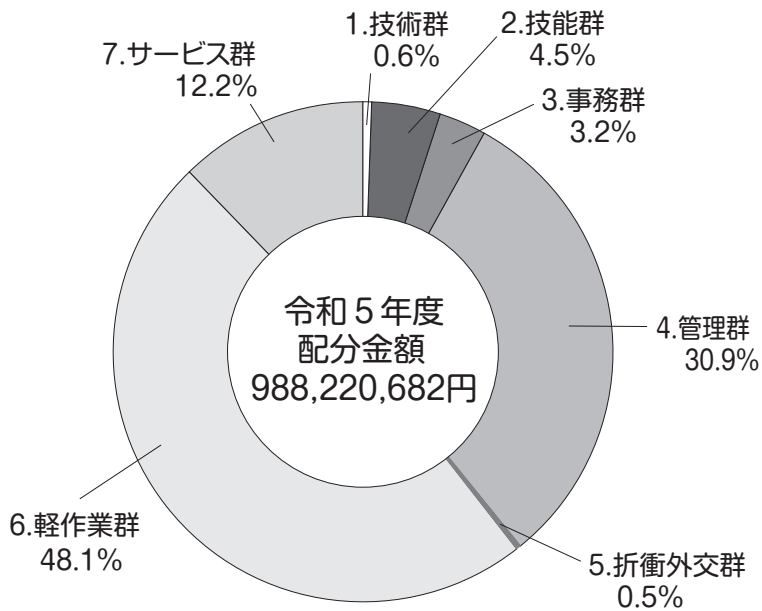
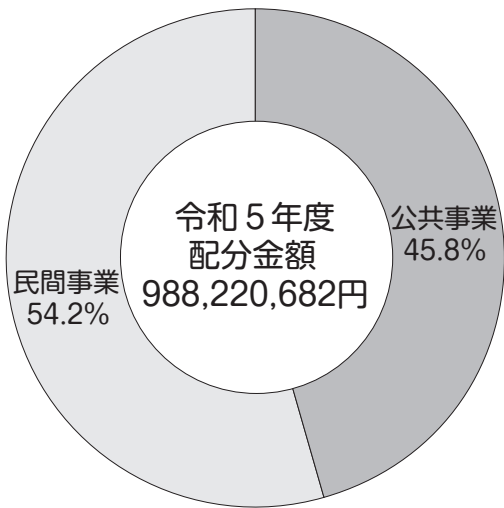


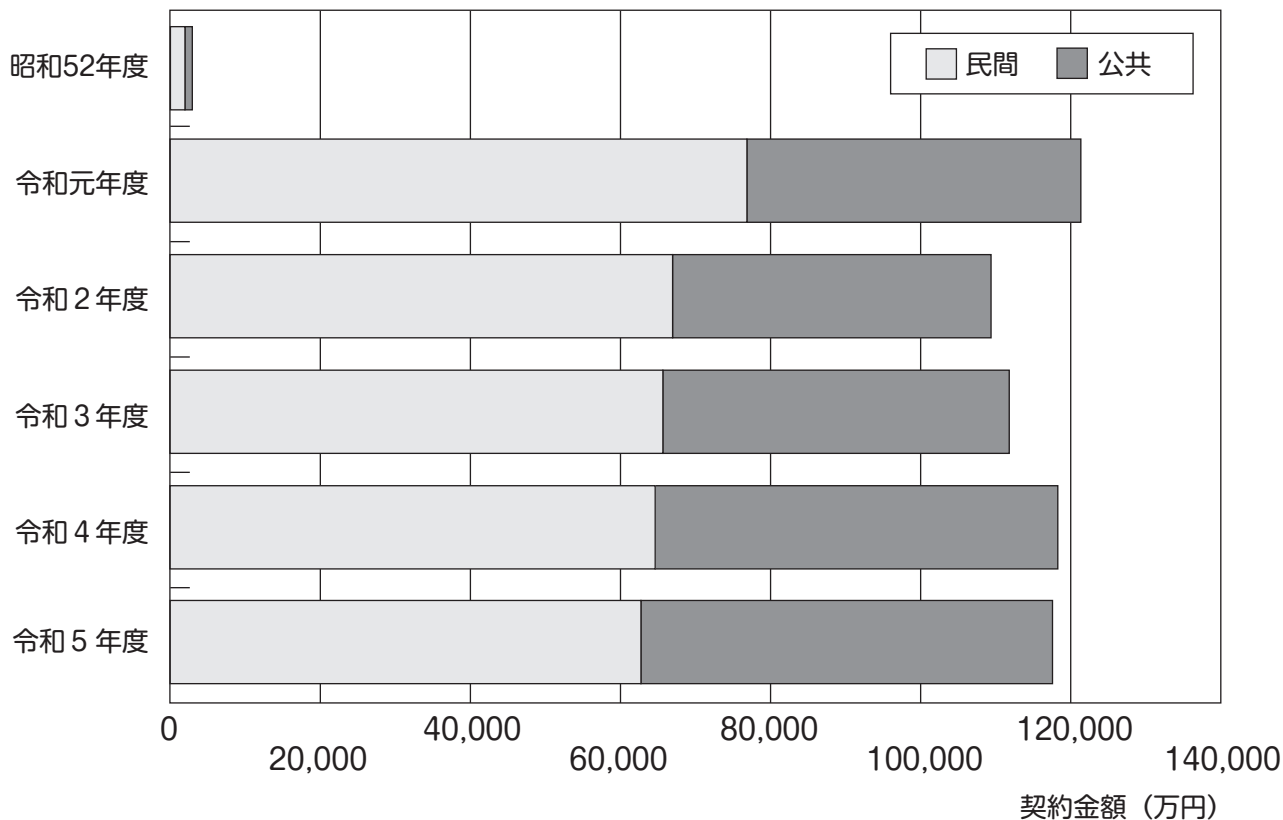
図-2 事業別配分金比率



(3) 各年度別事業実績（過去5年間）【請負】

年度	事業別	委託件数	延日人員	配 分 金	材 料 費	事 務 費	計	公民比
昭和52年度	公 共	79	3,235	8,636,296	682,986	502,882	9,822,164	33.6 : 66.4
	民 間	704	5,132	15,847,884	2,363,864	1,177,307	19,389,055	
	計	783	8,367	24,484,180	3,046,850	1,680,189	29,211,219	
令和元年度	公 共	588	108,954	421,498,143	10,736,799	50,528,094	482,763,036	38.9 : 61.1
	民 間	14,923	181,773	675,234,719	13,911,733	67,734,362	756,880,814	
	計	15,511	290,727	1,096,732,862	24,648,532	118,262,456	1,239,643,850	
令和2年度	公 共	620	100,028	377,064,737	5,989,788	50,482,690	433,537,215	39.3 : 60.7
	民 間	13,350	151,128	590,490,265	10,864,548	67,882,907	669,237,720	
	計	13,970	251,156	967,555,002	16,854,336	118,365,597	1,102,774,935	
令和3年度	公 共	669	103,258	407,280,440	7,116,640	54,763,412	469,160,492	41.3 : 58.7
	民 間	13,265	150,873	584,617,055	12,288,706	69,365,039	666,270,800	
	計	13,934	254,131	991,897,495	19,405,346	124,128,451	1,135,431,292	
令和4年度	公 共	706	110,913	454,579,864	11,975,387	64,977,519	531,532,770	45.0 : 55.0
	民 間	12,820	151,089	570,181,178	11,959,271	67,282,677	649,423,126	
	計	13,526	262,002	1,024,761,042	23,934,658	132,260,196	1,180,955,896	
令和5年度	公 共	704	113,312	452,226,417	9,845,694	75,786,664	537,858,775	45.7 : 54.3
	民 間	11,943	137,798	535,994,265	16,341,696	87,601,295	639,937,256	
	計	12,647	251,110	988,220,682	26,187,390	163,387,959	1,177,796,031	

図－3 各年度別事業実績の推移



(4) 令和5年度月別事業実績【派遣】

月別	受託事業 件数	就業人員		契 約 金 額		
		延実人員	延日人員	賃 金	手数料等	計
	件	人	日人	円	円	円
4月	18	21	246	1,053,214	312,228	1,365,442
5月	18	21	272	1,191,996	345,020	1,537,016
6月	19	22	301	1,293,930	399,827	1,693,757
7月	19	23	282	1,224,718	358,857	1,583,575
8月	20	24	316	1,339,369	310,532	1,649,901
9月	19	23	298	1,228,050	332,738	1,560,788
10月	19	23	311	1,357,391	403,377	1,760,768
11月	20	24	295	1,279,603	373,261	1,652,864
12月	20	25	317	1,354,495	396,433	1,750,928
1月	19	25	288	1,273,002	343,291	1,616,293
2月	19	26	315	1,402,818	395,271	1,798,089
3月	19	26	336	1,479,089	382,395	1,861,484
計	229	283	3,577	15,477,675	4,353,230	19,830,905